

一人だと思っていた、今までは。



社会的養護のもとに
暮らす高校生対象



2025年12月1日～
応募受付開始

公益財団法人教育支援グローバル基金 | ビヨンドトゥモロー

エンデバープログラム 2026

☐ 返済不要の奨学金給付 ☐ リーダーシッププログラム

応募方法

応募
受付開始 2025年12月1日
(2026年1月12日締切)

1次選考 2026年
[書類選考] 1月中旬

2次選考 2026年
[オンライン面接] 2月

対象者：応募時点で児童養護施設などの社会的養護施設または里親家庭に暮らしている、および10月開催の
ジャパン未来リーダーズサミット2025に参加した高校1年生、2年生（選考あり）

応募方法：2026年1月12日（月・祝）までに、応募用紙と保護者からの推薦状をgoogle formと郵送等で提出
詳細は、ビヨンドトゥモロー公式サイトより、応募要項をご確認ください



ビヨンドトゥモロー
公式サイト

BEYOND
Tomorrow

私たちは、親との離別・貧困・虐待などの逆境から立ち上がる高校生・大学生を応援しています

#社会的養護 #児童養護施設 #里親家庭 #奨学金

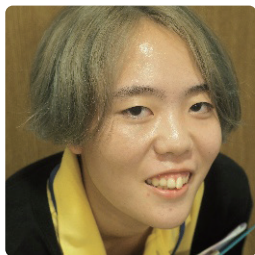
公益財団法人教育支援グローバル基金

〒150-0046 東京都渋谷区松涛1-26-18 園ビルディング1F
Mail: info@beyond-tomorrow.org TEL: 03-5453-8030

ビヨンドトゥモロー



過去のエンデバー・プログラム参加学生の声

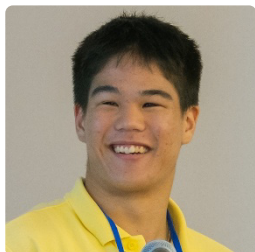


山根仁美さん（仮名）／2023、2024 年度参加奨学生

エンデバー・プログラムに参加する前の私は自分の人生に自信を持てずにいました。私は母子家庭で育ちましたが、その母も、くも膜下出血で倒れ、ひとりぼっちになった時にビヨンドに出会いました。

「自分さえいなければこんな事にはなっていないか」という思いが強く、ずっと劣等感を抱えていましたが、エンデバーに参加して仲間と共に議論し、泣き、笑うことで、自分も他の人と同じように感情があり、意思があり、生きていてもいいんだと思えるようになりました。私はエンデバーとしての活動を通して生きていることの嬉しさや喜びを学びました。

共に学ぶ楽しさ、笑う楽しさ、泣く尊さ、そんなものが感じられる仲間ができました。



近藤翔太郎（仮名）／2023 年度参加奨学生

最初の頃は奨学金のおまけのような感覚で活動に参加していたのですが、さまざまな経験をしてきた仲間と交流をしたり、ディスカッションをしたり、僕自身の親との死別と里親家庭であるという境遇ありのままに打ち明ける時間を過ごしたりするうちに、将来なりたい姿をイメージしたり、ビヨントゥモローを卒業した今でも、自分の気持ちを正直に話せる仲間との信頼関係をつくることができました。ここで得たものは、今の大学生活や部活動などの色々な場面で自分を後押ししてくれています。

ビヨントゥモローは人との繋がりの大切さを教えてくれて、自分のありのままを受け入れてくれた温かい故郷です！

ビヨントゥモロー エンデバー・プログラム2026（開催期間：2026年3月～2027年3月）

人材育成プログラム

1年間の人材育成プログラムを通じ、様々な分野で活躍する人々との対話や、困難を経験しながらも自らの人生を切り拓こうとする仲間との対話、社会課題について考える機会を提供します。幅広い活動を通じ、自らの視野を広げ、自分の将来について考えませんか。

<過去のプログラム事例（2026年度のプログラム内容とは異なる可能性があります）>

- ・オンラインスピーカーセッション 社会の様々なフィールドで、第一線で活躍されるゲストのお話を聞く
 - ・サマーリトリート 全国各地を訪れ、地域課題などを考える事で将来の選択肢を広げる、高校生を中心とした宿泊プログラム（開催地例：東京都・石川県・広島県など）
 - ・ジャパン未来リーダーズサミット 全国からリーダーを志す高校生が集う、3日間のプログラム。若者の自立や孤立などの社会課題に対し、提言を作成する 開催地：東京都
- ※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

進学準備奨学金給付

2026年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す学生を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、大学入学共通テスト検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します。※高校2年次に参加した方は人材育成プログラムの提供のみとなります。

応募方法

2026年1月12日（月・祝）までに、応募用紙と保護者からの推薦状を google form と郵送等で提出（詳細は、当基金HPより、応募要項をご確認ください。）

ビヨントゥモローHP <https://beyond-tomorrow.org/>

過去のプログラムの様子



お問い合わせ先

公益財団法人教育支援グローバル基金

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F
Mail: info@beyond-tomorrow.org TEL: 03-5453-8030

最新情報やプログラムの様子などを配信中！

ビヨントゥモロー



※このご案内は、25年度エンデバー・プログラムに参加する奨学生とキンコーズの協働によりデザインされました。

(現高校1年生、2年生対象)
ビヨンドトゥモロー エンデバー2026 【応募要項】

社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生を主対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨンドトゥモロー エンデバー2026」への参加者を募集します。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】公益財団法人教育支援グローバル基金

【プログラム期間】2026年3月～2027年3月（1年間）

【プログラム内容】 エンデバー2026は、以下の活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。

1. 人材育成プログラム

1年間に4～8回程度開催される人材育成プログラム（宿泊対面プログラムは4回程度、その他はオンラインプログラムが中心）を通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、「提言」としての発信活動をプログラム内で行います。これらのプログラムは、奨学金給付にあたり原則参加必須となります。

人材育成プログラム（対面）開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

- | | | | |
|-----|---------------------|-------|-------------|
| 第1回 | オリエンテーション・プログラム | 開催地未定 | 2026年3月下旬予定 |
| 第2回 | サマー・リトリート2026 | 開催地未定 | 2026年8月予定 |
| 第3回 | ジャパン未来リーダーズサミット2026 | 東京開催 | 2026年10月予定 |
| 第4回 | クロージング・プログラム | 開催地未定 | 2027年3月予定 |

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

2. 進学準備奨学金給付

2026年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、大学入学共通テスト検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します。なお、日本学生支援機構（JASSO）の「児童養護施設等の生徒への受験料等支援」との併用はできません（当財団の奨学金給付を辞退し、人材育成プログラムのみ参加することは可能です）。

【応募資格】 下記条件を満たすこと。

- 1 応募時点で、児童福祉法に基づき、児童養護施設などの施設に暮らしている、または都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしている、またはジャパン未来リーダーズサミット2025に参加経験があること。
- 2 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- 3 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- 4 2026年3月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

【選考方法】

1 次選考：書類審査

2 次選考：オンラインでの面接試験（応募者本人）

※2次選考の前に、保護者（施設長／里親など）を対象とした面談（対面もしくはオンライン）を行います。

※最終合格者には、施設長の発行する在籍証明書または里親委託証明書（児童委託証明書）を提出いただきます（サミット2025参加者を除く）。書類内容を確認の上、応募資格を満たしていることが認められない場合には認定を取り消します。また、認定後でも、後日申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【応募書類について】

1. 提出書類

(1) 応募用紙 (2) 課題作文 (3) 保護者（施設長／里親など）からの推薦状
上記3点を期限までにご提出ください。

2. 課題作文について

以下の設問①～④について、記入する際の条件や注意点をよく読み、記入してください

設問① あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。それについてどのように考えていますか。(400字以内)

設問② あなたは、どんな自分になりたいですか。なりたい自分の姿を、できるだけ具体的に書いてください。(200字以内)

設問③ あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、高校卒業後にどのような進路を希望していますか。(200字以内)

設問④ 現在、打ち込んでいる活動や、特技があれば教えてください。(200字以内)

<記入する際の条件・注意点>

- ・各設問に設定された文字数内で記入すること
- ・(郵送の場合) すべてのページに、氏名、学校名、ページ番号をフッター（ページ下）に記載すること。また、ホチキスどめ、クリップどめしないこと。

3. 保護者（施設長／里親など）からの推薦状について

推薦状のフォーマットは、以下 URL もしくは、右記 QR コードよりフォーマットをダウンロードいただけます。

(ホームページからもダウンロードいただけます)

<https://00m.in/ZNmLR>



4. 提出方法

以下のアまたはイの方法を選び、締切までに応募してください。

ア	Google form を使用して提出（応募用紙の内容・課題作文を直接フォームに入力、「保護者（施設長／里親など）からの推薦状」はFAX、メール、郵送のいずれかで提出。） こちらの URL もしくは、右記 QR コードからアクセスしてください。 グーグルフォームからの応募：https://forms.gle/BRAibEVRT1UYcVb26	
イ	郵送 郵送の場合の送付先は、以下の通りです。 （切り取って郵送先のラベルとして使用してください） ※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。 ※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。 ※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。	

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷 1-12-13

渋谷郵便局留

公益財団法人教育支援グローバル基金

「ビヨントゥモロー エンデバー2026 係」 行

【締切】 2026 年 1 月 12 日（月）必着

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

25 年 12 月 1 日 (月)	応募受付開始
26 年 1 月 12 日 (月・祝)	応募締切 (必着)
26 年 1 月 16 日 (金) 頃	1 次選考合格者への合格通知および 2 次選考案内送付 (不合格者には通知はありません)
26 年 1 月下旬	保護者 (施設長／里親など) とのオンライン面談を実施
26 年 2 月 8 日 (日) 予定	2 次選考 オンラインでの面接 (応募者本人のみ)
26 年 2 月中旬	最終合格者発表 応募者本人及び保護者 (施設長／里親など) に通知します

※本プログラムの合格者は、2026 年 3 月下旬に開催予定のオリエンテーション・プログラム (集合対面形式を予定) への参加が義務づけられています。詳細は確定次第追ってご連絡いたします。

11/27(木)20:00～ オンライン説明会を開催します

エンデバー2026 は進学をめざす高校生が、全国の仲間や社会で活躍する人との出会いを通じて、自分の将来を考え、力を伸ばす 1 年間のプログラムです。受験に向けた奨学金支給のほか、人材育成プログラムについても詳しくご紹介します。参加を検討されている高校生や、支援者・里親・施設職員の皆さまは、ぜひお気軽にご参加ください。

開催日：11 月 27 日 (木) 20:00～

ご参加をご希望の方は、以下フォームよりお申込みください。

ご参加用フォーム： (URL) <https://forms.gle/8WXc5BTE3t8yswrV9>

(QR コード)



【公益財団法人教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

公益財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン (地球市民) の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

役員一覧

理事
橋本 大二郎 (代表理事)
小林 正忠
本庄 竜介
村瀬 悟
平川 理恵

監事
上滝 賢二
江崎 滋恒

評議員
塩崎 恭久
宮城 治男
小宮山 利恵子

アドバイザー 竹中 平蔵

元高知県知事
楽天グループ株式会社 常務執行役員
グループ・チーフ・カルチャー・オフィサー
グリーンコア株式会社 代表取締役
メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
元広島県教育長、昭和女子大学 ダイバーシティ推進
機構 客員教授、学校法人金蘭会学園 理事・経営改
革本部長、他
元日本放送協会理事
アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法共同事
業 弁護士

一般財団法人勤草日本イニシアティブ代表理事
NPO 法人 ETIC 創業者
スタディサプリ教育 AI 研究所所長
東京学芸大学大学院教授

慶應義塾大学 名誉教授・元国務大臣

【問い合わせ】公益財団法人教育支援グローバル基金

電子メール：info@beyond-tomorrow.org 電話：03-5453-8030 (代表) ファックス：03-6745-9100

名前	(氏)	(名)
ふりがな		
住所 (郵便物送付先)	〒	
応募資格について	あてはまるものに✓をつけてください ☐ 児童養護施設に暮らしている (施設名：) ☐ 児童養護施設以外の社会的養護の施設に暮らしている (施設名：) ☐ 都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしている (里親氏名：) ☐ ジャパン未来リーダーズサミット 2025 に参加した	
電話番号	自宅	携帯電話
Email		
性別・学年	男 ・ 女 ・ その他 (○をつける)	学年 (2025 年度現在)
学校	学校名 (正式名称)	
生年月日	(西暦) 年 月 日	
自宅最寄駅	線 駅	
選考設問 1： あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。それについてどのように考えていますか。(400 字以内)		
選考設問 2： あなたは、どんな自分になりたいですか。になりたい自分の姿を、できるだけ具体的に書いてください。(200 字以内)		
選考設問 3： あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、高校卒業後にどのような進路を希望していますか。(200 字以内)		
選考設問 4： 現在、打ち込んでいる活動や、特技があれば教えてください。(200 字以内)		

本人氏名（自署）：_____ 保護者氏名（自署）：_____

※提出頂いた情報は、公益財団法人教育支援グローバル基金から、財団のプログラムに関するご案内、財団の趣旨に合致すると考えられる各種プログラムのご案内のために使用され、それ以外の目的での利用は致しません。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2026
保護者（施設長／里親など）による推薦書
（保護者の方がご記入ください）

志願者氏名	
-------	--

ビヨンドトゥモロー エンデバー2026 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ高校生を応援しています。選考にあたり、志願者のこれまでの背景や、日常生活における所見、志願者の人柄など、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付（西暦）

住所

電話番号

推薦者氏名

印

（該当するものに✓をつけてください）

志願者との関係

- ☐ 本人が居住する施設の施設長 ☐ 都道府県知事により委託された里親
☐ 保護者

施設名（社会的養護の施設に暮らしている場合）

本状は必ず保護者の方がご記入ください。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2026 応募を迷っているかもしれないあなたへ



宮田 雅彦（仮名）
エンデバー2024 年度奨学生
（現大学 1 年生総合情報学部）

2 歳から施設で生活をしており、母との死別を経験した。突然のことに驚き、傷ついたものの「いつまでも引きずるわけにもいかない」と思い、立ち直った経験を持つ。固定概念にとらわれず前向きに生きるため、アルバイトや塾の勉強に打ち込んでいる。将来はシステムエンジニアやプログラマーとして活躍することを志している。

私がビヨンドトゥモローに応募させていただいたのは、施設の職員方からの推薦がきっかけでした。日本の各地から応募した奨学生が集まって行われるプロジェクトとのことで、興味はあるものの、その規模の大きさに萎縮していました。特に、私自身とても人見知りで、コミュニケーションをとることに自信がなかったのが不安を大きく煽っていたのだと思います。しかし、「そんな私の弱みを克服して変われるきっかけになるかもしれない」また、「こんな経験ができるのは人生で一度きりで、私の境遇が生んだ運命なのかもしれない」と感じ、応募するに至りました。

始まりは 24 年度の春の合宿で、参加者の皆さんは、一人一人がとても優しくて接しやすかったのに加えて、距離を縮めてくれるようなプログラムが用意されていたので、対話が苦手な私でもすぐにメンバーと仲良くなれました。全体的に振り返ると、メリハリのあるプログラムだったと思います。

中でも私が一番印象的だと感じたのは、ビヨンドナイトというグループ内で行われる体験共有でした。私は心配されたり、他の人とは違った目で見られたりするのが嫌で、日常的には自身の過去や境遇を他者に話すことができませんでした。ですが、ビヨンドナイトでは心身に聞いてくれる仲間がいました。話すことによって、閉ざされていた心が解放されたような気持ちになり、自信を持つことにも繋がったと感じています。

ビヨンドトゥモローに参加したことで後悔はありません！自分のことをもっとよく知ることのできる機会だと思って、是非ビヨンドトゥモローに応募してみてください！優しい先輩方があなたを待っています！